

第18期 事業報告書

自平成25年4月1日
至平成26年3月31日

1. 事業概要

(1) 当期の営業状況

日本経済は、アベノミクス効果等の影響で歴史的値動きにより急激な円安株高が進み輸出も回復、また消費増税前の駆け込み需要の増加で個人消費、設備投資が伸びるなど成長がうかがえました。しかし消費増税後はその反動で個人消費、設備投資が大きく落ち込むことが予想され、本格的な景気回復への鈍化が懸念されます。

こうした中、近鉄山本駅周辺自転車駐車場の管理移管、近鉄山本駅前と近鉄高安駅西の電磁ロック化、地下鉄八尾南駅と近鉄高安駅東の防犯カメラ設置など、施設の改修や拡充を図るとともに、各種経費の節減など、業務の効率化等を図りながら経営改善の推進と利用者サービスの向上に努めてきました。

また、八尾市をはじめ各種関係団体とも連携し、安全安心のまちづくりのため、駅周辺の「放置自転車の防止」と「自転車利用者のマナー向上」を訴える広報啓発活動にも積極的に取り組んでまいりました。

当期(第18期)の業績につきましては、営業利益は5,841万8,778円(前年度比13.1%の増)となりました。

内訳ですが、自転車駐車場収入では3億5,766万7,620円(前年度比13.1%の増)、市庁舎地下駐車場収入では1,646万6,005円(前年度比14.8%の増)となりましたが、当期純利益金額につきましては、3,777万5,925円(前年度比28.2%の減)となっております。

引き続き業績の向上と利用者サービスの向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：円)

	第18期		第17期	
	自：平成25年4月1日		自：平成24年4月1日	
	至：平成26年3月31日		至：平成25年3月31日	
営業利益	58,418,778		51,662,757	
経常利益	61,287,062		54,721,128	
当期利益	37,775,925		52,642,040	
一株当たり当期利益	62,959		87,736	
総資産	511,505,436		465,643,872	
純資産	343,247,263		306,371,338	